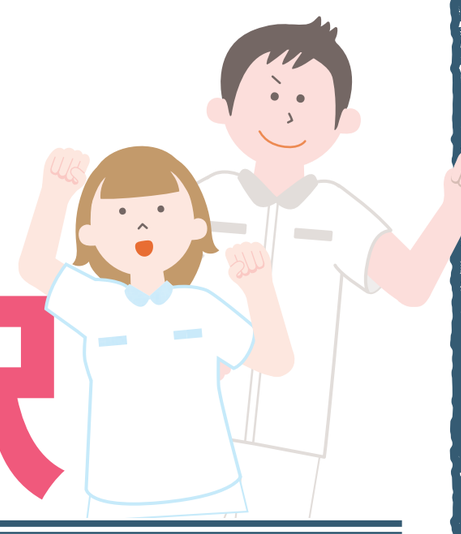
4年間のねばり強い取り組みで「国立病院の機能強化」衆議院で請願採択



第12号 全医労 壁しんぶん

第12号 2024年9月1日

全日本国立医療労働組合
〒170-0005
東京都豊島区南大塚1-48-3
TEL:03-5940-8600
FAX:03-5940-8601
http://www.zen-iro.or.jp
E-mail:zeniro@zen-iro.or.jp

6月21日、衆議院本会議において、全医労が取り組んできた「国立病院の機能強化を求める国会請願」が全会派一致で採択されました。4年にわたってあきらめずに全国の職場・地域で大運動署名に取り組み、国立病院の現場実態を訴え、地元議員や自治体に繰り返し働きかけてきたことが全医労運動においても歴史的な成果につながりました。

採択された請願は、今後、内閣に送付されます。全会派一致で請願が採択された運動の成果に確信をもち、国立病院の機能強化、よい医療の実現のために実効ある措置の実現に向けた運動が求められます。今後も署名活動に積極的に取り組み、請願採択項目の具体化に向け運動を強化していきましょう。

大運動、ハ病改善署名

1人10筆達成しよう

422億円の防衛財源に加え 206億円も追加で国庫返納

国立病院機構は、2023年度に国から防衛財源費確保のために422億円の国庫返納が求められました。そして、24年3月末で第4期中期目標期間（2019年4月～2024年3月）終了にともない法人資金の清算が行われ、追加で206億円の国庫返納が決まりました。あわせて628億円にものぼります。これは第4期積立金の45.9%となります。国庫返納する資金があれば老朽化した建物・医療機器の整備更新をはじめ、人材への投資など、国立病院の機能強化につながる活用ができます。

国立病院は感染症対応や災害時医療が必要となった際、国から直接指示を受け対応が求められます。にもかかわらず診療事業にかかる国からの財政補助もなく、自収自弁での運営を求められています。第4期中期目標の間のほとんどが新型コロナ対応に追われましたが、その間、看護師をはじめ職員の増員は一切行われていません。今後も緊急時に対応を求めるのであれば、平時からの備えが何より必要となります。

国会請願署名をはじめ自治体決議や病院懇談などの全医労大運動をつうじ、命まもるセーフティネットとして国立病院の機能強化を国に求めていきます。

2024年 人事院勧告

★新たな人材確保視野に平均2.76%11,183円UP　賞与0.1月プラス

医（三）【看護師】

2-5号棒初任給は249,200円に（30,600円の改定）

一方、2-64号俸から平均改定額を下回る水準に

20年目以上➡2-86号俸の場合4,800円の引き上げ312,900円に

チェック！

寒冷地手当増額も支給地域減

再任用職員　生活関連手当（住居・寒冷地）支給も賞与支給月数は定員の半減のまま

地域手当の広域化で支給率減拡大

不満

生活実態と乖離した勧告　中高年層は実質賃金減も

労使協議も不十分なまま、不利益変更を含む賃金労働条件改悪は許されない

全組合員の投票で ストライキ権確立を！

9月16日～9月27日 必ず投票を

第78回定期全国大会で圧倒的多数の支持を得てストライキ権批准投票の実施が決まりました。機構・NC支部は、9/16～9/27の期間において全国一斉に、全組合員の直接無記名によるストライキ批准投票を行います。

ストライキを実施するためには、全組合員による批准投票で過半数の賛成を得ることが必要です。

高批准率でストライキ権を確立し、私たちの要求を前進させよう。

スト批准投票

全組合員による投票 ▶ 組合員大多数の賛成を得る！ ▶ ストライキ権確立 ▶ ストライキ権確立すると ストを構えた 賃金交渉で 要求前進!!

総対話で職場要求前進 よい医療・看護・介護を実現させよう

全国青年・女性集会 組合員のみなさん 参加お待ちしています♥

休暇が取れない、超勤が多い、ハラスメント等 困ったことがあれば全医労に相談を

TEL 03-5940-8600
FAX 03-5940-8601
URL http://www.zen-iro.or.jp